

問 区への加入促進の指導ができないか

答 任意団体のため個人の意思が原則



太田正治 議員

【区への加入】

問 最近加入する方が少なく、人手不足や事業運営等大変厳しい状況。委員会を立ち上げ行政で加入促進を検討できないか。

答 自治会・行政区は任意団体であり、加入・脱退は個人の意思によることが原則。

問 他の市町村でも同じ悩みを持っているが、他に良い方法はないのか。

答 法的な面も含めて良い方法がないか弁護士とも相談したところ、任意団体であるため、行政の介入は難しいとのアドバイスを受けている。現在のところ、検討委員会等の立ち上げの予定はない。ただし区未加入者

に対する共益費など一定の負担方法については、引き続き検討。

問 白馬駅周辺の開発は

答 中長期的“まちづくり(案)”で検討

【白馬駅周辺の開発】

問 駅西側には公営の駐車場がなく、シーズンになると駅構内の駐車場が満車となり、困っている方が多くいる。駅東側は笠地蔵や「詩の小径」と「ミニニティ広場が整備され、来訪者が多いが、駅東側の既設道路の拡幅と公営の駐車場をつくる計画がないか。

答 今後は中長期的な“まちづくり(案)”として継続して検討。

問 白馬駅東西通路構想について、行政は現状を把握しているのか。JRとどのような話になっているのか。

答 歩行者だけでも木流用水路脇を通れないか現場を確認したが、橋桁の高さが不十分であり、具体的な検討に至らぬまま断念したという経過。駅周辺検討委員会の中では、JR側からは駅東側の具体的な“まちづくり計画を決めてからアプローチしてほしいと聞いている。

問 複合施設などに地元産木材の使用を

答 有利な制度があれば活用する

【複合施設の内装材に木材利用を】

問 図書館複合施設の内装材に村産材や県産材を多く使用し、温もりのある建物にする予定は。

答 村産材や県産材の使用の現行の制度は、不特定多数の者が利用する公共施設や公共スペースを対象にして、県産材を活用した展示効果の高い公共施設整備の木造化や木質化に対して助成されるもので、最低事業費500万円、原則として延床面

積300㎡以上で、県産材使用が50%以上という採択基準。具体的に図書館の複合施設建設の木材使用については、複合施設の考案の整理や基本計画の策定に有利な制度を活用することになるので、一つの要素としてとらえる。



白馬駅北側木流川に歩行者通路の実現は可能か